

頸城区 46号 2024・2 地域協議会だより

発行 頸城区地域協議会
編集 頸城区地域協議会事務局
(頸城区総合事務所
総務・地域振興グループ)
☎ 530-2311 FAX 530-2001

令和5年度 地域独自の予算事業の活動内容

今回は、9月以降に実施された2事業の活動内容をお伝えします。



坂口記念館の特色を活かした講座事業

発酵学の父と言われた坂口謹一郎博士の偉業を後世に伝えることを目的とした講座として、さかきん発酵鍋づくりの講習が2月2日ユートピアくびき希望館で開催されました。

まずは講師の詳しい説明に耳を傾け、その後、それぞれがさかきん発酵鍋づくりに取り組みました。さかきん発酵鍋とは、上越産の酒かすを使った味噌ベースもしくはトマトベースのスープで作った鍋のことを指します。今回の講習では、味わい深い味噌ベースの鍋を作りました。自分たちで作ったさかきん発酵鍋を、参加者みんなで美味しくいただきました。

今後も発酵に焦点を当てた講座が開催される予定です。興味のある方どなたでも気軽にご参加いただけます。次回の開催も、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

地域協議会委員 笠原 昇治



大規模防災訓練事業

南川地区では、くびき振興会と上越市消防団頸城方面隊が協力して、10月15日に南川小学校体育館で大規模な防災訓練を実施し、12の町内会が参加しました。

南川地区には大勢の外国人市民が住んでいることから、外国人市民が就業している事業所に声をかけて参加を呼びかけました。しかし、今回は外国人就業企業に初めて声をかけたこともあり管理者のみの参加になりましたが、今後は外国人市民の参加も見込んだ訓練にしていく必要があります。

訓練は実践のごとく、実践は訓練のごとくよく言われますが、言語の壁や生活習慣の違いを乗り越えて助け合うことが必要ですし、そのために訓練は欠かせません。外国人市民のみならず、近隣の住民同士の理解を深めるためにもこのような訓練はますます大切になります。

地域協議会委員 望月 博



地域協議会委員任期満了のごあいさつ

令和2年4月から地域協議会委員を務めた委員12名からのごあいさつです。

会長職を振り返って

任期途中で会長職を引き受けて3年余りが過ぎました。地域活動支援事業から地域独自の予算に大きく方向転換し、「住みたい、訪れたい」まち頸城区について我々が提案した5本の柱に分け議論を進めてきたところです。これからのまちづくりの検証の方向性については議論不足が否めません。今後、「住みたい、訪れたい」まち頸城区を目指し、住民の皆様と議論してまいりたいと思いますし、新たなまちづくりへと成長することを期待しています。

会長 上村 闌一

4年間の地域活動を振り返って

地域協議会では地域の発展や課題解決を目指し、様々なテーマについて意見交換を行い具体的方策を探ってきました。任期の途中からは副会長として地域活動支援事業の審査や地域独自の予算事業でまちづくりの立案に従事。頸城区のまちづくりのテーマ「住みたい、訪れたい」まち頸城区を実現するべく各団体が集まり意見交換をし、重点を5つに絞り実現に向かい活動を始めました。

副会長 笠原 昇治

頸城区まちづくりに携わって

新地域協議会委員になって、諸先輩の方々と一緒に取り組んできました「頸城区のまちづくり」は地域協議会発足当初より取り組んできた「まちづくり」とテーマは違えど同じ思いです。「住みたい、訪れたい」まち頸城区について、地域協議会委員の皆様、各団体役員と4年間意見交換を行ってきました。次年度へと引き継いでいただく新地域協議会委員の方と共に審議し、継続して作り上げていければと思っております。

委員 小川 泉

3年間の地域活動支援事業を

総括して

毎年約700万円の地域活動支援事業予算を有効に活用すべく、地域の課題解決や地域の向上に貢献しようとする頸城区の皆さんからの提案に対して、毎年プレゼンテーションを実施し公平に審査しました。採択後、様々な事業を展開していただきました。どの事業も、未来のためになる礎となり、住みたい訪れたいまちになる一助となるでしょう。くびきの未来は、君の力が必要！

委員 佐藤 学

過ぎ去れば速きかな

協議会の初挑戦

初めての地域協議会委員の活動期間は、コロナ禍により全てが自粛された中でスタートとなりました。そのような中でも山積する課題に取り組むため勉強会・視察研修あるいは地域活動やボランティアに積極的に参加したものの、地域協議会委員の役割を果たせたか、少し疑問の残る4年間でした。ご厚情を頂いた皆様にご心より感謝申し上げます。

委員 新保 哲男

地域独自の予算のあゆみと考察

当区は、5つの重点項目を掲げ地域独自の予算を立ち上げた。計画した事業はおおむね順調だが、各活動団体の中心人物の高齢化により次代を担う人材育成が急務である。終了した地域活動支援事業を復活させ、地域独自の予算との2本立てが必要なのではないか。区外のファンを引き込むための革新的なアイデアを次代を担う人達と共有する事が重要だと考える。残る2カ月、真摯に任期を全うさせていただきます。

委員 滝本 篤透

「住みたい、訪れたい」まち頸城区の5本柱(事業)とは

「住みたい、訪れたい」まち頸城区を実現するための①大池・小池を活かした観光、②くびきのお宝(レールパーク、館)活用、③季節の花が咲く通学路、ポケットパーク、④外国人の交流とファーマーズマーケット(買い物難民対策等)、⑤情報発信、SNSの5つの重点テーマです。

4年間を振り返って

地域独自の予算がスタートし、区の将来像、5事業が提案されました。実現には地域協議会はもとより頸城区の皆さんの継続した協力が必要になります。

また、柿崎区、大湊区、吉川区、頸城区の頸北4協議会では公共交通や地域自治、頸北の歴史等共通する課題で合同研修会を開き、区の枠組みを超え検討会を継続してきました。これは地区振興のため継続する必要があります。次期委員各位の活躍に期待します。

委員 西巻 肇

今後の地域協議会に期待する事

頸城区の問題として少子高齢化に伴う人口減少、人口流出による地域の衰退・消滅が考えられます。残念ながらこの流れに抗う事は不可能です。いずれ公民館等公の施設の廃止、幼稚園、学校の統廃合は必ず訪れます。この流れにただ身を任せるか、流れを穏やかにするかはこれからの地域協議会委員に委ねられます。

ぜひ柔軟な考えを持つ現役世代の参画による生き残りをかけた協議会に期待します。

委員 船木 貴幸

5期目の4年を終えて

合併から20年が経過しました。市長の諮問機関として毎月地域協議会を開き、頸城区の今後について様々な角度からその方向性について論議してきました。

地域と共にあるべき協議会ですが、20年を経た今日も認知度は低く、その存在が理解されていない現実があります。

より認知度を上げて、視線を集めることと同時に若者の参加を期待して締めくくります。

委員 望月 博

地域活動支援事業について

地域活動支援事業は、市民が地域の課題や活力向上に向けた自主的な地域活動を活発なものとしていくための仕組みです。(1)地域特性を活かしたまちづくり、(2)安全安心なまちづくり、(3)景観形成・生活環境の向上、(4)健康・福祉の充実、(5)教育・文化・スポーツ活動の振興等、5事業例を示し、審査、採択をして多くの団体組織を支援してきました。令和4年度で終了した事業ですが、支援を受けた皆さんの活躍を願っております。

委員 山本 誠信

視察研修に参加して

10月に外国人市民との交流に係る取組に先進的な長野県上田市への視察研修に参加しました。上田市はコミュニケーション・生活に関する支援、多文化共生の地域づくり等を掲げ取り組んでいます。上田多文化交流フェスタや自治会での出前事業等が行われ、ボランティアの人数も多いそうです。

頸城区も多くの外国人市民が働き生活しています。今後、外国人市民が増えていくにあたり、市と連携し共生することが必要だと思います。

委員 横山 一雄

活動を振り返って

地域協議会委員となり、地域活動支援事業を通して頸城を守り愛し盛り上げていく方達を知りその思いを強く感じました。

これからの頸城区は多文化共生も大きな課題のひとつです。頸城区の歴史や伝統を守りつつ、外国の文化を取り入れるという不易流行の考え方も必要であると感じます。

地域とともに歩む若い世代や女性の参加を期待しております。

委員 橋本 春美



地域協議会のうごき

〈協議会開催の経過〉

■ 9月27日 第6回地域協議会

- ・新潟県南部産業団地の現状について（報告）
- ・上越市地区公共交通懇話会について（報告）

■ 10月18日 第7回地域協議会

- ・頸城区地域活性化の方向性の検証について（協議）

■ 10月23日 長野県上田市への視察研修

■ 11月22日 第8回地域協議会

- ・頸城区地域活性化の方向性の検証について（協議）
- ・地域協議会活動報告会について（協議）
- ・上越市地区公共交通懇話会について（報告）
- ・視察研修実施報告について（報告）

■ 11月25日 頸北地区地域協議会委員合同研修会

講演：「日本の中の上越・頸北
～二人のケンシンの視点から～」

講師：中西歴史文化指導監
（上越市教育委員会）

■ 12月20日 第9回地域協議会

- ・頸城区地域活性化の方向性の検証について（協議）
- ・地域協議会活動報告会について（協議）

■ 1月17日 第10回地域協議会

- ・頸城区地域活性化の方向性の検証について（協議）
- ・地域協議会活動報告会について（協議）

■ 2月21日 第11回地域協議会

- ・頸城区地域活性化の方向性の検証について（協議）
- ・地域協議会活動報告会について（協議）
- ・地域独自の予算の事業一覧について（報告）

「頸城区地域協議会活動報告会」を開催します

現在の地域協議会委員の4年の任期が4月28日で終了することに伴い、今期の活動報告会を開催します。

ぜひご参加ください。

事前申込みは不要です。



日時 3月2日(土)

午後2時～午後3時40分

会場 ユートピアくびき希望館

2階 多目的ホール

内容

- ・4年間の活動状況について
- ・頸城中学校生徒からのまちづくりに関するアンケート集計結果発表
- ・頸城中学校生徒を交えた参加者との意見交換会
- ・次期地域協議会委員の公募説明

頸城区地域協議会の活動状況は市のホームページで公開しています。詳しくはこちらの二次元コードからご覧ください。



編集後記

地域協議会では、この先の頸城区が健やかで、安心、安全に生活できるように月に1回の定例会として議論を行ってまいります。地域の皆様のお声を大切に、参考にさせていただいていますが、進展する事柄になつていないと思えます。皆様の一言が基調であります。どのようなことでもご提案いただければありがたいと思います。

新型コロナウイルス感染症も5類に移行してからいろいろな行事が開催されていますが、インフルエンザも依然として流行しています。どうぞ健康管理をお願いいたします。

頸北地区地域協議会委員合同研修会が11月に開催され、市の歴史文化指導監の中西講師より親鸞聖人、上杉謙信公に関する講演をお聞きしました。上越・頸北は東西文化の交差点であるようにとお話がありました。私たちは、歴史、文化を大切にしたい以上、頸城区を向上させていこうではありませんか。委員の任期も残り少なくなり、新委員の方々に良い方向で引継ぎができるように精一杯務めさせていただきます。

（地域協議会委員 横山 一雄）